

参 考 手 本

此聖賢之樂

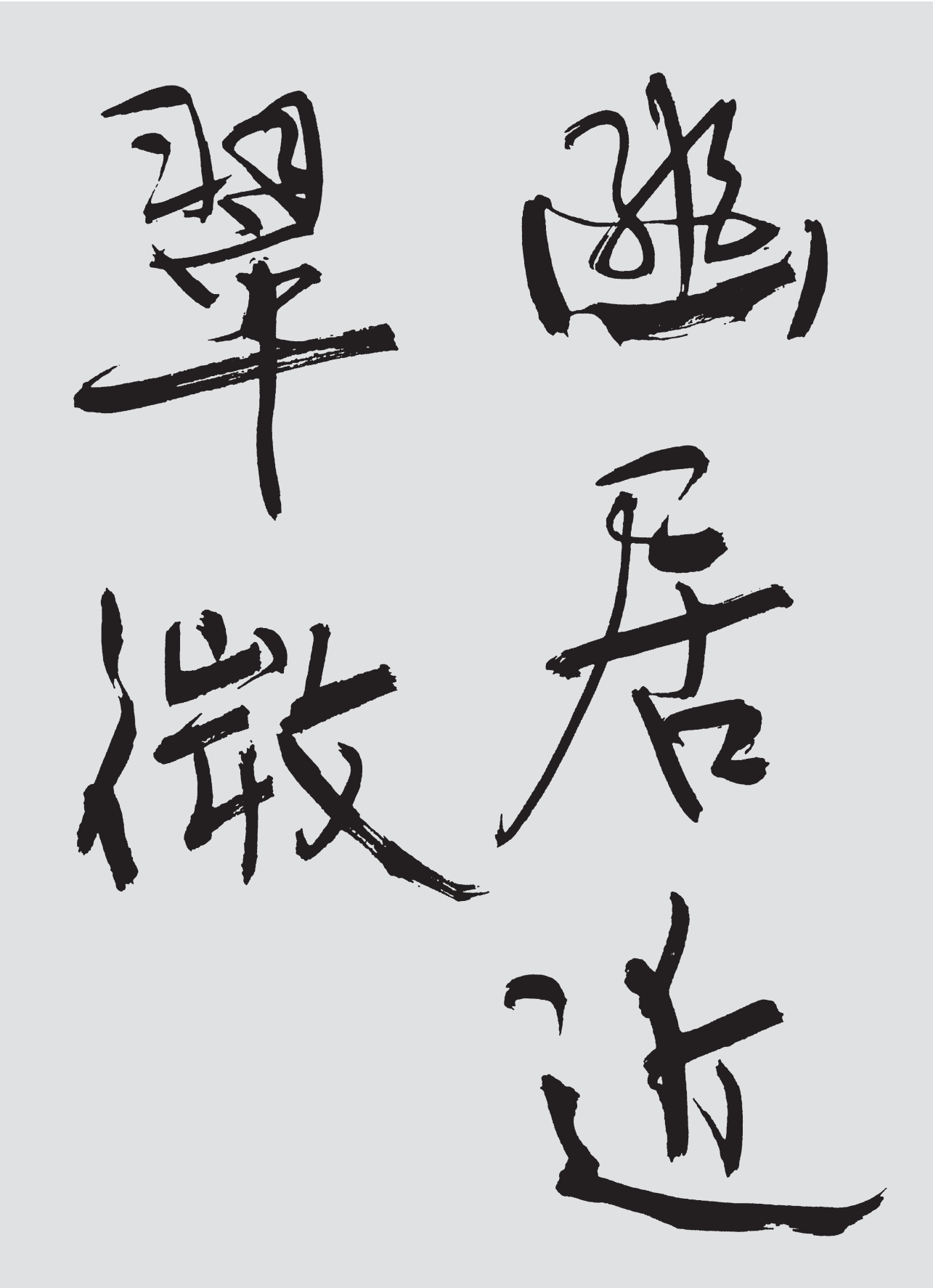


※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先 生

参 考 手 本

幽居翠微近し



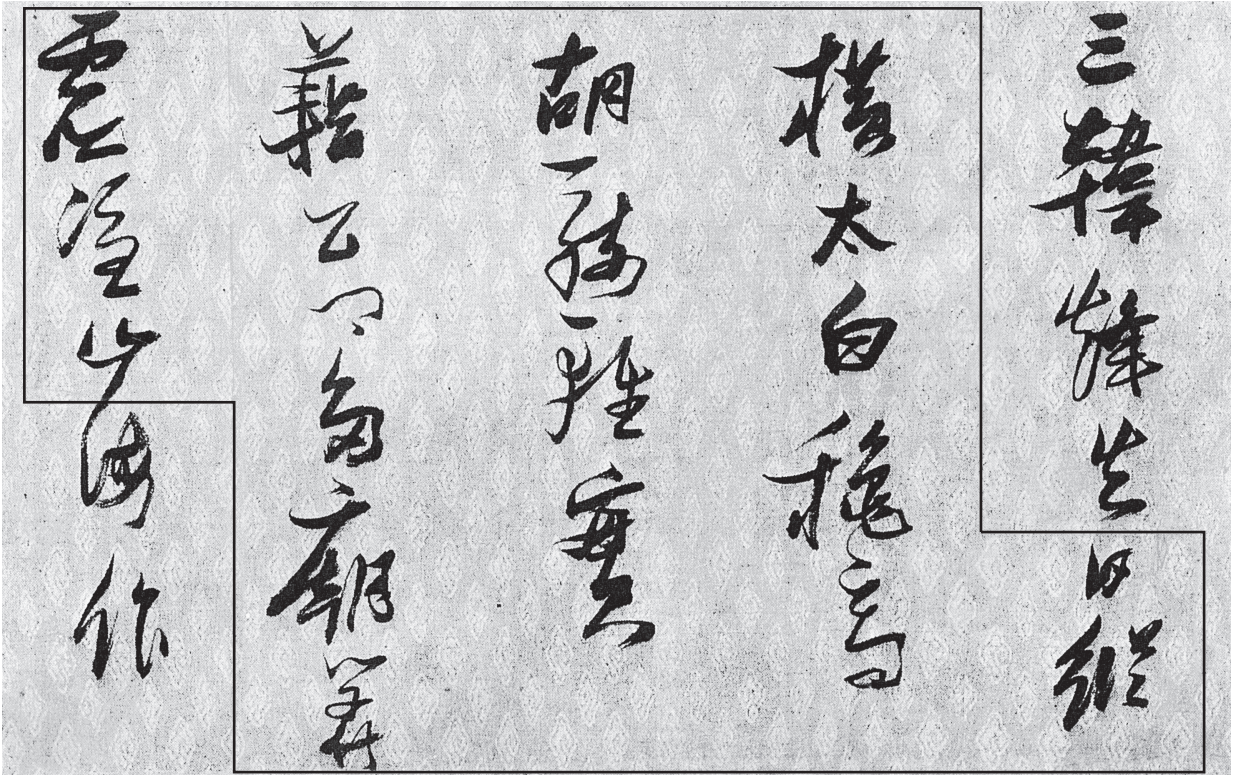
※これは規定課題ではありません。

成 瀬 映 山 先 生

条幅規定

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)



張瑞凶(明) 『感遼事作六首卷』④

(三韓烽火) 日縦 横太白秋高

胡騎輕實 藉公卿多廟算

虚憑山海作

三韓の烽火 日に縦横 太白 秋高く

胡騎輕し実に 公卿に藉りて 廟算多く
虚しく山海に憑りて (関城を) 作る

三韓の烽火は毎日いたる所からあがって、
太白星は秋空に高く、胡の騎兵は身軽。
まこと公卿の作戦計画に多く頼り、
空しく山海関に依って関門とする。

【今月の課題】

「日縦横太白秋高胡騎輕實藉公卿多廟算虚憑山」(20字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く
段・級を記入してください

(9月10日締切)

条幅規定

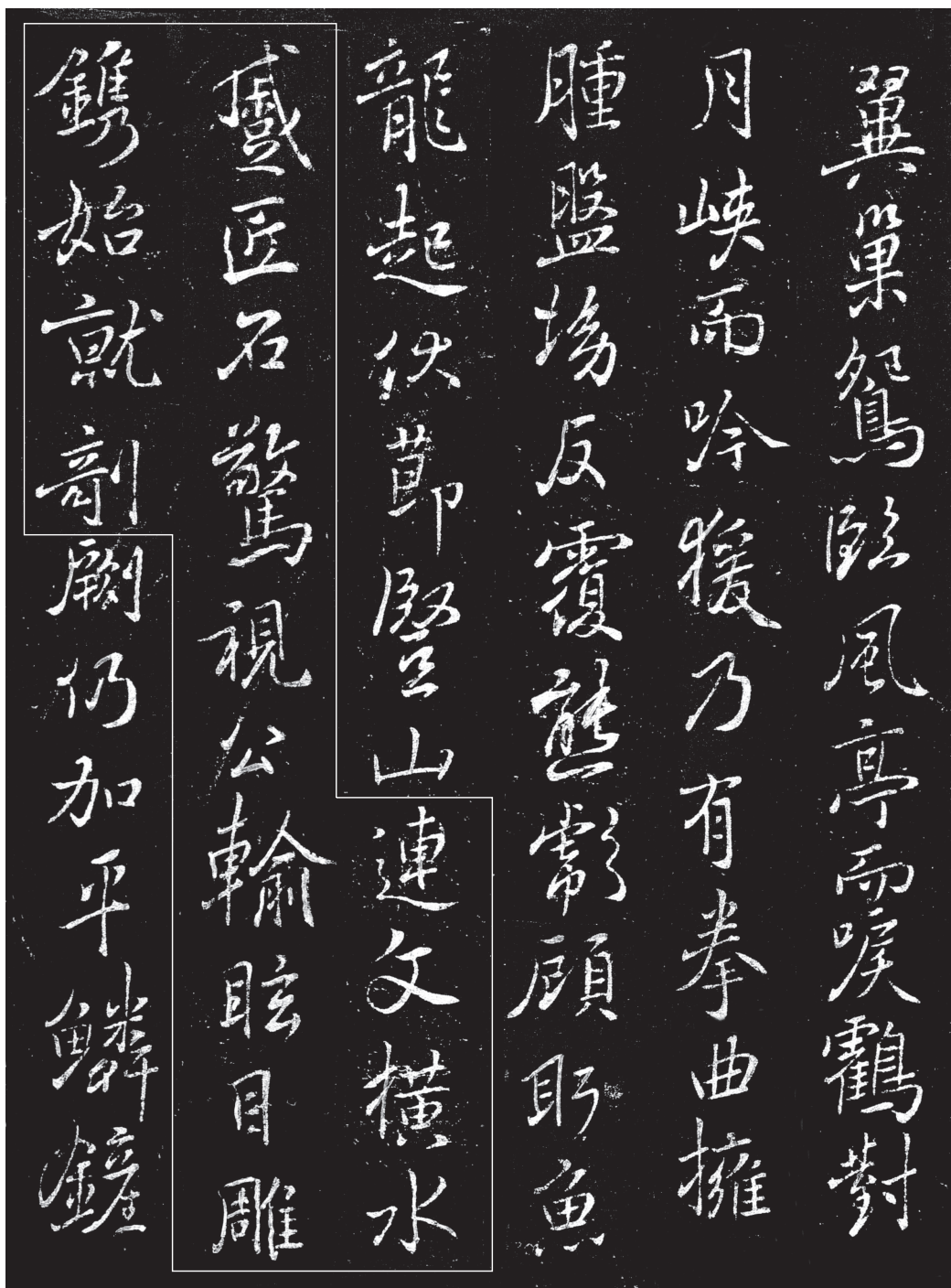
C部 (二段以下)

『枯樹賦』

楮遂良

(唐)

⑨



翼巢鴛。臨風亭而唳鶴。對月峽而吟猿。乃有拳曲擁腫。盤踠反覆。熊彪顧眄。魚龍起伏。節豎山連。文橫水蹙。匠石驚視。公輸眩目。雕鐫始就。剗刷仍加。平鱗鏤。

翼を(比べて)鴛を巢くわす。風亭に臨みて鶴を唳かしめ、月峽に対して猿を吟かしむ。乃ち拳曲擁腫、盤踠反覆し、熊彪の顧眄し、魚龍の起伏する有り。節の豎なるは山連なり、文の横なるは水蹙まれり。匠石は驚き視、公輸は目を眩ます。雕鐫始めて就り、剗刷仍りて加え、鱗を平らげ甲を鏤り、

(9月10日締切)

【今月の課題】「連文横水蹙匠石驚視公輸眩目雕鐫始就剗」(18字)

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔二級以下〕楷書



九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

激鑿心神鑒

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

官寺を繕い、南門を開き、嵯峨を闕き、

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



寺開南門闕

心神を激鑿す可し。群形を鑑映し

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(9月10日締切)

条幅参考手本

雲勢移峰緩
泉聲出竹遲
此時無限意
唯有翠禽知

石田輝仙先生

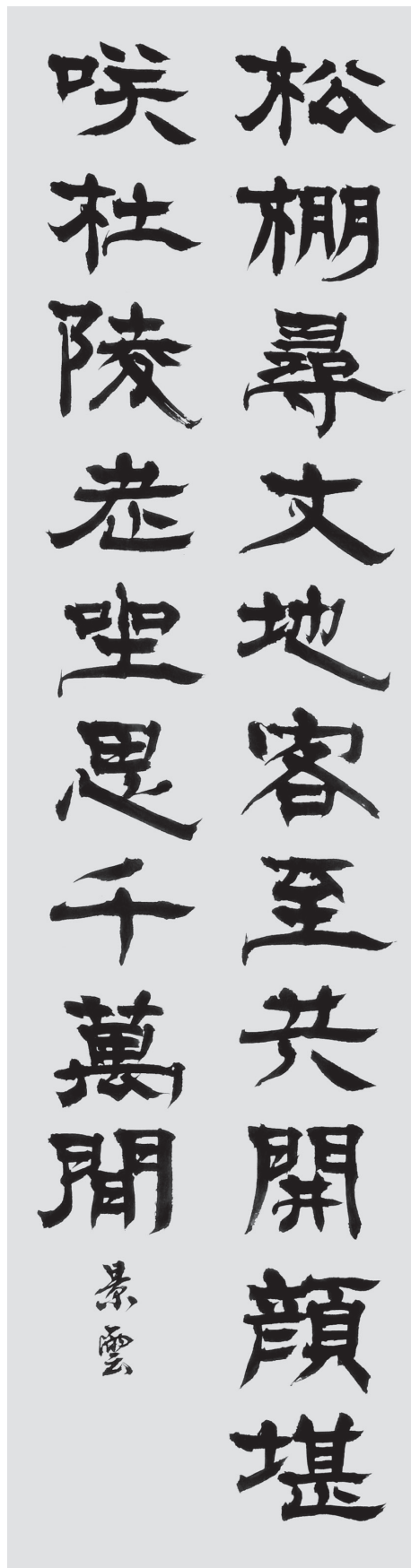
雲勢移峰緩 泉聲出竹遲 此時無限意 唯有翠禽知
雲勢峰を移りて緩かに 泉声竹を出でて遅し この時限り無きの意 ただ翠禽の知るあるのみ

長澤豊雲先生

昭君拂玉鞍
上馬啼紅頰
今日漢宮人
明朝胡地妾

昭君拂玉鞍 上馬啼紅頰 今日漢宮人 明朝胡地妾
昭君玉鞍を払い 馬に上つて紅頰を啼く 今日漢宮の人 明朝は胡地の妾

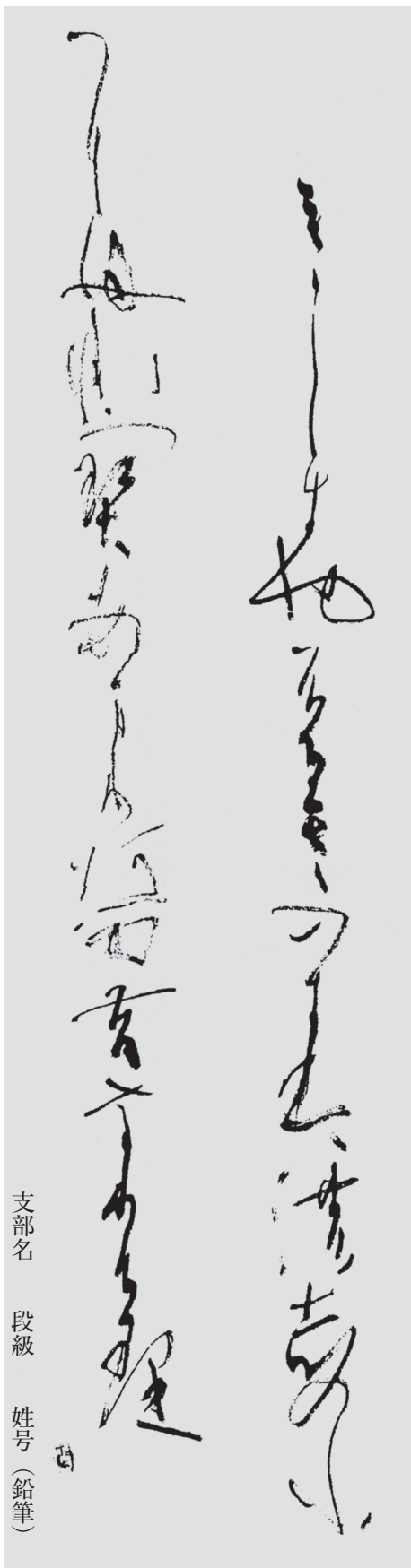
条幅参考手本



渡辺景雲先生

松棚尋丈地 客至共開顔 堪笑杜陵老 坐思千萬間
 松棚尋丈の地 客至りて共に開顔す 堪笑杜陵の老 坐に思ふ千万間

条幅かな



浮乗清郷先生

もしきや古き軒端のしのぶにもなほあまりある昔なりけり (順徳院)
 毛、支不古き軒端のしのぶにもなほあまりある昔なりけり (順徳院)
 支盤濃志 耳母那寶 万利阿留 利个理

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

支部名 段級 姓号 (鉛筆)

(9月10日締切)

半紙かな（1級以下）

てんたか
多可
くもゆ
雲行
ほう
方
われ
我
ゆ
行
（高浜虚子）

てんたか
くもゆ
ほう
われ
ゆ

てんたか
くもゆ
ほう
われ
ゆ

支部名
級
姓
号
（鉛筆）

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

ながら
可
遍八
多
このごろやしのばれむ憂しと見し世ぞ今
志
者
無
憂
志
今
万
支
は恋しき（藤原清輔）※ちらし文字変換は自由

ながら
可
遍八
多
このごろやしのばれむ憂しと見し世ぞ今
志
者
無
憂
志
今
万
支
は恋しき（藤原清輔）※ちらし文字変換は自由

支部名
段
姓
号
（鉛筆）

若
月
久美子
先生

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

（9月10日締切）

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

小諸なる古城のほとり雲白く遊

子悲しむ縁なす藪蕪は萌えず

若草も藉くにやうなりしうかぬの

衾の岡辺日に溶けて淡雪流る

支部 段級 姓号

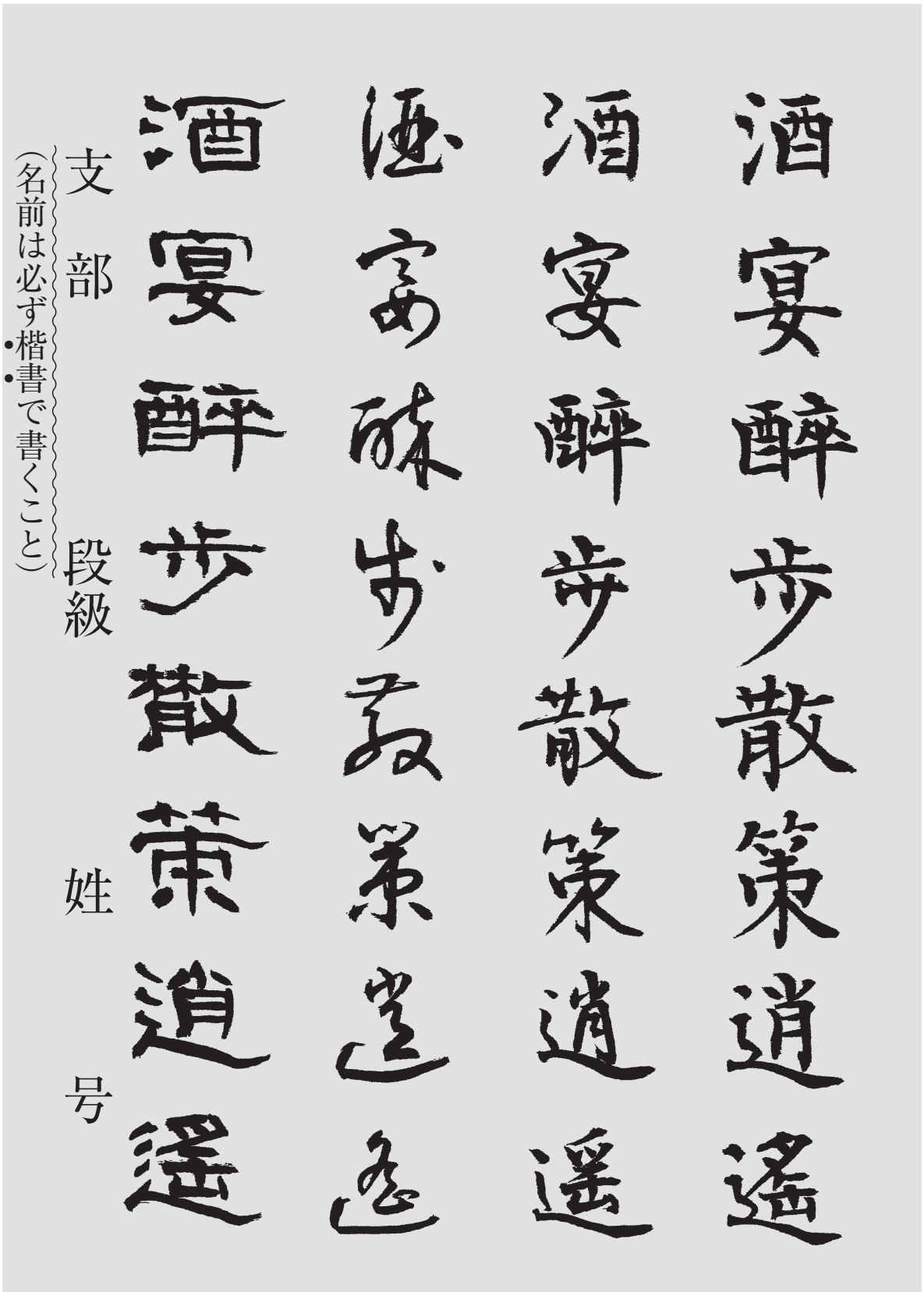
〈書風任意〉…藪蕪…藉く…衾の…

島崎藤村「千曲川旅情の歌」より

鈴木 蕪 恵 先生

(9月10日締切)

細 字



支 部
 段 級
 姓
 号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。 ※名前は楷書以外では違反になります。 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

逍 遙
 しょう しょう
 そぞろ 歩く

硬筆（1級以下）

2行、楷書

暦の上では立秋を迎えましたが、
 まだ暑々、厳しい日が続きます。
 支部 級 姓 号

硬筆（初段以上）

3行、行草書

古典を臨書してその文字の字形や
 運筆などの特徴を生かし別の体系
 を書くことを「倣書」という。
 支部 級 姓 号

…臨書…特徴…作品…。

田 辺 翠 鶴 先 生

青 柳 江 雲 先 生

※本院定型用紙・たて半分に書く

(9月10日締切)

中2用

支
部名
段級
名
前

学問 西洋の

渡邊南嶂先生

中3用

支
部名
段級
名
前

の店 民芸品

大越三宗先生

小6用

支
部名
段級
名
前

の秋 音風

渡邊南嶂先生

中1用

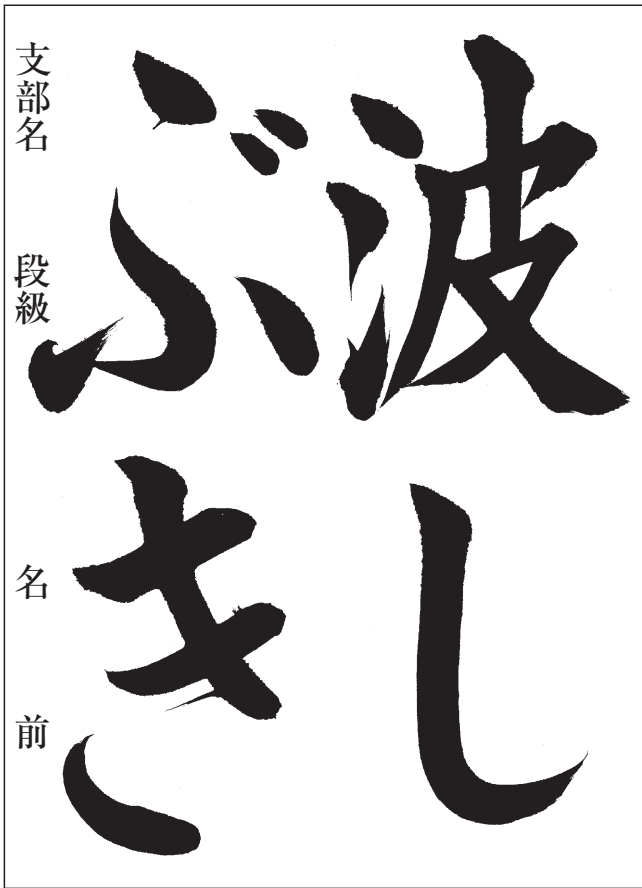
支
部名
段級
名
前

の旅の思 い出

渡邊南嶂先生

(9月10日締切)

小4用



大越三宗先生

小5用



大越三宗先生

小2用



鈴木翫恵先生

小3用



鈴木翫恵先生

(9月10日締切)

中1

準備は間に合わない。急な必要にせまられ、急な

中2

然が破壊されていく。自開発が進むに従い、

中3

書家として、も有名だ。良寛は、禅僧、歌人、

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

あお

鈴木 恵 先生

中1~中3

青柳江

雲先生

小1・幼年

きかえるのが、しょうが
きこえてきます。

小2

ゆかぜに、白い花びらが
ゆれていきます。

小3

しい風がほおをなでる。
木かげに入ると、すす

小4

よく、とび回りたい。
大空を鳥のように元気

小5

の夜に鳴く虫の声に、夏
の終わりを感じます。

小6

手伝いをしていきます。
日曜の朝、食事を作る

小1~小3

田辺翠

鶴先生

小4~小6

齋藤 翡

流先生

(9月10日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

支部名
段級
名前
前

夏の夜に
花火大会

主幹 菅野翠濤

支部名
段級
名前
前

ふぎの葉に
ぼんと穴あぐ暑さ
かな

船久保 棠苑先生

※半紙半分を書いて下さい。(9月10日締切) ※半紙半分を書いて下さい。

10月10日締切課題予告

A B部条幅規定 海作關城恩深養士先皇帝地重定都古北平歎息

C部条幅規定 剛仍加平鱗鏑甲落角摧牙重重碎綿片片眞花

かな条幅規定 さしのぼる朝日の光ふかみつはやけぶりたつをちこちの浪(若山牧水)

半紙規定(初段以上) 嵯峨望望山
半紙規定(二級以下) 映群形潤生

半紙かな(初段以上) さりともと思ひし人は音もせて荻の上葉に風ぞふくなる(三条小右近)

半紙かな(二級以下) 立秋の鏡の中に風が吹く(橋本寅男)

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題10月13日締切

中三規定	紅葉の山野	中三硬筆	急にさえ渡った空に、秋の星座が昇り始めた。
中二規定	初秋の月夜	中二硬筆	野鳥が住めるような自然環境にしたい。
中一規定	大型の台風	中一硬筆	教科書の本文を読んで感想文をまとめる。
小六規定	新米の味	小六硬筆	学生書道コンクールで、特選をもらった。
小五規定	月見の夜	小五硬筆	海辺では、雲が流れ、まつ林が風にさわぐ。
小四規定	小さな魚	小四硬筆	高原の風に、コスモスの花が、大きくゆれた。
小三規定	ガラス玉	小三硬筆	ススキが出はじめた。もうすっかり秋です。
小二規定	サイン	小二硬筆	とおくで、川の水がひかっています。
小一規定	ひも	小一硬筆	あきは、くだものがいっぱいあります。
中学部かな	つたの葉や のこらずうごく 秋の風		
小学部小筆	虫の声 秋は近し		

令和5年後期昇段試験要項

左記により令和5年後期昇段試験を施行いたします。

* 作品縮切 ・ 漢字 仮名部 9月8日(金)

・ 実用文 細字 硬筆部 9月21日(木)

◎漢字部 臨書課題

◆A部 六段・五段に応試(用紙・聯落 $\frac{1}{4}$ つき)

楷書 元楨墓誌銘

行草書 吳昌碩・詩稿

隸書 乙瑛碑

P・20参照

P・20参照

P・21参照

◆B部 四段・三段に応試(用紙・謙慎サイズ40cm×160cm)

楷書 蘇慈墓誌銘

行草書 黃庭堅・松風閣詩卷

隸書 曹全碑

P・21参照

P・22参照

P・22参照

◆C部 二段に応試(用紙・半切)

楷書 歐陽詢・九成宮醴泉銘

行草書 王羲之・集字聖教序

隸書 曹全碑

P・23参照

P・23参照

P・24参照

◆D部 初段に応試(用紙・半切)

楷書 歐陽詢・九成宮醴泉銘

行書 王羲之・蘭亭序

P・24参照

P・25参照

※級から級への受験者はD部に応試のこと。

◎かな部

◆A部 六段・五段に応試

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ つき以内「たて」に揮毫

さらでだにあやしきほどの夕暮に荻ふく風の音ぞきこゆる(斎宮女御)

(ロ)全懷紙「たて」に揮毫

月かげはおなじ光の秋の夜をわきて見ゆるは心なりけり(後撰和歌集)

(ハ)古典臨書(揮毫部分は任意)

「小島切」を半紙半分相当「たて」に書く

◆B部 四段・三段に応試

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ つき以内「たて」に揮毫

秋の夜に雨ときこえて降るものは風にしたがふ紅葉なりけり(紀貫之)

(ロ)半切 $\frac{1}{2}$ 「たて」に揮毫

此道や行人なしに秋の暮(松尾芭蕉)

(ハ)古典臨書(揮毫部分は任意)

「関戸本古今集」7～8行相当「たて」に書く

◆C部 二段・初段に応試

(イ)半切「たて」に揮毫

木の間より洩り来る月の影見れば心づくしの秋は来にけり(古今和歌集)

(ロ)古典臨書(揮毫部分は任意)

「高野切第一種」を4～5行相当「たて」に書く

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

出品の際、バーコードを必ず貼付の事。貼り忘れた場合は保留となります。

◎実用文

半紙タテ書き。落款は行書又は草書

◆A部（準三段以上に応試）

最近生涯学習という事がしきりに言われているが、近年の急速な社会の変化は人々に常に新しい知識や技術の習得、豊かな教養を身に付ける事の必要を余儀なくさせている。

◆B部（二段以下に応試）

孔子は中国の春秋時代の思想家であり、儒教の祖として彼の理想は「論語」に詳しく語られており、日本にも大きな影響を及ぼした。

◎細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

（初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隸の四体を揮毫して下さい。）

横風吹雨入楼斜 壯観応須好句誇（岩波文庫『中国名詩選 下』P 275）

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

◎硬筆部

◆A部 六段・五段に応試

本院定型用紙一枚に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体を書く。）

乾隆帝は中国歴代の皇帝の中で最も優れた文化人の一人である。王羲之の名品を蔵した「三希堂」を建てたのを始めとして、伝統的な文化に深い理解を示した。

◆B部 四段〜準二段に応試

本院定型用紙一枚に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体を書く。）

落款とは「落成の款識」の意味で、書画の作品に筆者が自署し、雅号等の印を押すことをいう。

出品の際、バーコードを必ず貼付の事。貼り忘れた場合は保留となります。

◆C部 初段に応試

本院定型用紙タテ半分に、楷・行別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体を書く。）

※級から級への受験者はC部に応試のこと。今年は例年にならない厳しい暑さとか。御自愛お祈り致します。

◎昇段試験 実物大手本料・応試料

科目	種別	六〜準五段を受験	四〜準三段を受験	二〜準二段を受験	初段を受験
漢字	手本料 (1書体)	5,000	3,500	2,500	2,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
かな	手本料 (1セット)	8,500	7,500	6,000	6,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
硬筆	手本料 (3書体)	7,000	6,000		3,000 (2書体)
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
実用文	手本料	2,000		1,500	
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
細字	手本料	2,500			2,000
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000

※合格者には段級証明書を発行します。

※手本希望の方は手本代と返送用封筒（切手添付）を同封して直接希望の師範へ依頼して下さい。

※揮毫した師範は一回限り無料添削の義務あるものとし、二回以上添削希望の者はその師範の指示に従って下さい。

※漢字作品出品の際、提出作品を、楷・行草・隸の順に重ね、一番上の作品の左下に鉛筆で支部名・現在の段級・姓号を記入して下さい。（仮名

作品はそれぞれに鉛筆で記入）

※バーコード出品券にも現在の段級を記入し、一枚だけ貼り付けて下さい。

後期昇段試験課題 (六段・五段)

楷書 元楨墓誌銘 (北魏・作者不詳)



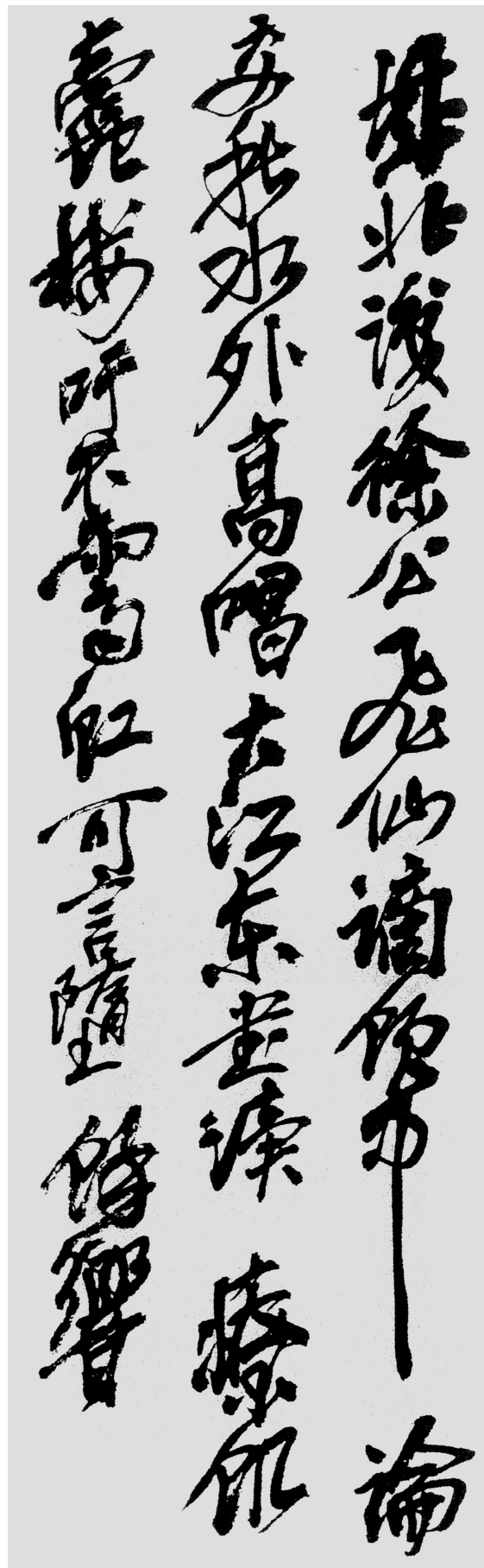
中国法書選25 P 12 / 13

凝量援風烈馨卷命夙降朱黻早齡基牧函櫟終撫魏亭威整西黔惠結束氓旻不錫 (33字)

聯落1/4繼に揮毫

行草書 吳昌碩詩稿 (清・吳昌碩)

中国法書選60 P 66



城北識徐公飛仙謫飲中論交秋水外高唱大江東書讀療飢蠹梅吁不霽虹可言墮餘響 (35字)

聯落1/4繼に揮毫

後期昇段試験課題

(四段・三段)

(六段・五段)

公諱慈字孝慈其先扶風人也九曲靈長河流出積石之下 (23字)



謙慎サイズに揮毫

楷書 蘇慈墓誌銘 (隋・作者不詳)

中国法書選26 P 51

一人典主守廟春秋饗禮財出王家錢給大酒直須報謹問大常祠曹掾馮牟史郭玄 (33字)



聯落¼繼に揮毫

隸書 乙瑛碑 (後漢・作者不詳)

中国法書選4 P 759

後期昇段試験課題 (四段・三段)

行草書 松風閣詩卷 (宋・黄庭堅)

可畫眠怡亭看篆蛟龍纏安得
此身脫拘攣舟載諸友長周旋

中国法書選47 P 12 ~ 14

可畫眠怡亭看篆蛟龍纏安得此身脫拘攣舟載諸友長周旋 (24字)

謙慎サイズに揮毫

隸書 曹全碑 (後漢・作者不詳)

主簿王歷戶曹掾秦尚功曹史王頴等嘉慕奚斯考甫之美乃

中国法書選8 P 28

主簿王歷戶曹掾秦尚功曹史王頴等嘉慕奚斯考甫之美乃 (24字)

謙慎サイズに揮毫

後期昇段試験課題 (二段)

楷書 九成宮醴泉銘 (唐・歐陽詢)

同堯肌之如腊甚禹足之
胼胝針石屢加腠理

同堯肌之如腊甚禹足之胼胝針石屢加腠理 (18字)

半切に揮毫

中国法書選31 P 12・13

行草書 集字聖教序 (東晋・王羲之)

空外迷天萬里山川撥煙霞
而進影百重寒暑

中国法書選16 P 11

空外迷天萬里山川撥煙霞而進影百重寒暑 (18字)

半切に揮毫

後期昇段試験課題

(初 段)

九成之宮此則隨之仁壽宮也冠山抗殿 (16字)

九成之宮此則隨之仁
壽宮也冠山抗殿

半切に揮毫

楷書 九成宮醴泉銘 (唐・歐陽詢)

中国法書選 31 P 5

(二 段)

北地太守父瑋少貫名州郡不季早世是以位 (18字)

北地太守父瑋少貫名州
郡不季早世是以位

半切に揮毫

隸書 曹全碑 (後漢)

中国法書選 8 P 8

行書 蘭亭序（東晋・王羲之）



中国法書選15 P 14

永和九年歲在癸丑暮春之初會于會稽（16字）

半切に揮毫

今年度の
夏期講習会は行いません。

□年間入賞者表彰

月例作品で多数の入賞をされた方を表彰致します。

◆月例競書で年間に

一般 20点以上 学生 15点以上

入賞されている方は明細を添えて申請して下さい。

【点数計算方法】

令和4年8月号から
令和5年7月号まで
優秀賞（賞） 1回…2点
入賞（※） 1回…1点
として計算して下さい。

〔明細記入例〕

① ○月号	半紙規定三段	※	1点
② △月号	細字三段	※	1点
③ 4月号	細字三段	賞	2点
④ 5月号	実用文準四段	※	1点
⑤ 6月号	硬筆三級	※	1点

計〇〇点

◆期間

令和4年8月号から令和5年7月号までの1年間です。

◆締切 8月15日